

平成30年度第3回瑞穂市総合教育会議 会議録

平成31年1月30日（水）午後1時開議

○日 程

開会

1 あいさつ

2 議 題 (1) 図書館分館の充実に向けて

3 その他

閉会

○出席者

市 長	棚 橋 敏 明	教 育 長	加 納 博 明
教育長職務代理者	加 藤 悟	教 育 委 員	森 下 伊 三 男
教 育 委 員	加 木 屋 加 緒 里		

○欠席者

教 育 委 員 福 野 佐 代 子

○説明のため出席した者の職・氏名

教育次長	山 本 康 義	教育総務課長	矢 野 隆 博
学校教育課長	小 川 瑞 樹	幼児支援課長	林 美 穂
生涯学習課長	佐 藤 彰 道	生涯学習課主幹	國 枝 孝 治

○職務のため出席した者の職・氏名

総務部長	廣 瀬 充 利	総務課長	石 田 博 文
総務課主査	藤 森 雅 人	総務課主査	村 田 杏 沙

○傍聴者

0 人

開会 午後1時

開会の宣告

○石田総務課長 皆さんこんにちは。本日は大変お忙しい中、平成30年度第3回瑞穂市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の司会は総務課の石田が務めさせていただきますのでどうぞよろしくお祈いします。それでは、会議に入る前に、皆様方にお諮りいたします。本会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第6項の規定により、原則公開となっております。現時点では傍聴の方はみえませんが、希望者があった時点で、認めるということによろしいでしょうか。

(全員同意)

○石田総務課長 ありがとうございます。もう一点、「瑞穂市総合教育会議運営要綱」第7条の規定に基づき、議事録には、出席者の氏名等が公表されますことも申し添えます。

それでは、はじめに、棚橋市長より、ごあいさつ申し上げます。

あいさつ

○棚橋市長 本日は平成30年度第3回総合教育会議を招集させて頂きましたところ、皆様方には大変お忙しい中お集まりいただき、まことにありがとうございます。平素は当市教育行政の推進に多大なご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日の議題として、「図書館分館の充実に向けて」について協議し、教育委員のから忌憚のないご意見を頂戴したく思います。

昨年11月20日に「瑞穂市図書館分館の充実に向けた取組」について、瑞穂市社会教育委員の会より答申書が教育委員会宛に提出されました。まず、担当課より、答申に至った経緯から論点のテーマについて説明願います。

また、教育委員の皆様には、今回のテーマに拘わらず、図書館の賑わいの創出や、他市町とは違う、瑞穂市らしい図書館にするには、こうしたら良いのでは、というアドバイスもありましたら、ぜひこの機

会にご意見いただけたら幸いです。

○石田総務課長 ありがとうございます。次に加納教育長からご挨拶をお願いしたいと思います。

○加納教育長 改めましてこんにちは。本年度第3回の総合教育会議ということで市長さんから命を受けて私ども集まっております。今日の議題は図書館分館の充実に向けてということで今市長さんからご案内あったとおりでございます。

図書館の数はいくつ位が適当なのかといった議論もあります。人によっては歩いて行ける範囲にあるのが適当だと。そうなりとかなりの数になるわけですが、そうなりとそれは都会の話じゃないかという点もあると思います。

では人口割ではどうなのか。47都道府県の中で山梨県が一番多いそうです。10万人あたりに5.95か5.96あるそうです。山梨県は多いことによって、健康で長く生きる方が多いそうです。読書をするというのは非常にリスクが少ない活動だと。ウォーキングも健康にいいと言われますが、ウォーキングをしている最中に怪我をする方がいるそうです。膝を痛める方もいるそうです。ところが読書をやっていて体を悪くする方というのは非常に少ない、リスクが少ないと言われています。こういったことも以前NHK等で特集を組んでやってみました。

私ども瑞穂市には今2館ございます。2館のうち、1つは今ご案内のとおり図書館分館となっております。この分館という名前も含めて、2館の在り方、今後は1館になるかもわかりませんが、今どうすべきかというあたりについて、諮問をかけて答申をいただいた内容について、今日は市長さんからこのようなテーマで伺いたいと依頼を受けましたので、教育委員さん方の忌憚のないご意見をいただいて今日は進められるといいなと思っております。

それから論点についても説明させていただきますので、その論点の内容で審議を集中してやっていただけるとありがたいと思っております。よろしく願いいたします。

○廣瀬総務部長 ありがとうございます。それでは瑞穂市総合教育会議運営要綱第4条の規定によりまして、これより棚橋市長が議長となって会議を進めていただきたいと思います。それでは市長さんよろしく願いします。

議題 (1) 図書館分館の充実に向けて

○棚橋市長 議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは議題1の「図書館分館の充実に向けて」担当課より説明をお願いいたします。

○佐藤生涯学習課長 (資料に基づき、「図書館分館の充実に向けて」について説明)

○棚橋市長 ありがとうございます。只今説明がございました「図書館分館の充実に向けて」、先ほど課長の方からの説明もございましたが、本当に幅も広く中身も深いですので、3つのテーマを順番に等ではなく、全体を捉えてのご意見ですとか、まずは皆様から忌憚のないご意見やご質問をお願いいたします。

○森下委員 私から質問させていただきます。テーマ2「図書を借りやすくするための環境整備について」の中で、答申の中にもありましたが、学校図書館との連携をどのようにしていくかということが1つポイントだと思います。

ただ問題は、子ども図書館の対象をどの辺りにするのか。小学生か中学生か全ての、あるいは幼稚園とか、場合によっては未満児クラスとお母さんということもあると思います。おそらくその辺を広く対象にされると思いますが、やはり学校図書館との関係というのは非常に重要だと思いますので、現在でもやっていらっしゃるかもしれませんが、図書の返却というのもわざわざ子ども図書館の方に返しに行くのではなくて、学校図書館に返したものはそのまま自動的に子ども図書館の方に渡るとかそういうことも検討していただけたらと思いました。

それからもう1つ。図書を借りやすくするという意味では、中学生位になると自分の足で行けるかもしれませんが、特に小さなお子さん、

非常に小さなお子さんがいて、しかも上のお子さんが幼稚園児とか保育園児という状況ですと、場所によっては移動図書館というか、図書を積んで巡回するというようなことがあってもいいかなと。これは私自身が大垣市で体験したことで、子どもは非常に喜んでいました。

それから、図書館は子どもを対象にするということで、既にあるかもしれませんが、答申書4ページの「③分かりやすい図書の紹介 特集コーナーや効果的な図書の紹介」で、図書だけではなくて、できたらこども新聞のような軽く読めるコーナーがあるといいなと思いました。大人の場合ですと、大抵は図書館に新聞等がざっとおいてあるコーナーがあるので、そういうのもあってもいいかなと思いました。

次は5ページですが、「③図書カードや読書通帳の有効的な活用について」、これは非常に良い励みになると思うのですが、もし可能でしたら、これにインセンティブをつけてみるのはどうでしょうか。例えばある程度スタンプがたまったら、手作りメダルがもらえとか、何か特典があると励みになっていいのでは、と感じました。

それからDVDです。おそらく既にDVDはあると思うのですが、以前分館に行った時にはちょっと気が付かなかったのですが、DVDを親子で観られるような環境にしてあげるのはいかがでしょうか。普通DVDは、ブースのようなものの中で一人鑑賞する環境が多いと思うのですが、できたら親子で楽しめるような、そういうスペースがあるといいなと思いました。

○加藤委員 テーマ2「図書を借りやすくするための環境整備について」です。

分館まで子どもたちが出かけようとする、近くに住む子どもは歩いても行けますし自転車でも行けますが、離れたところに住む子どもとなると、公共の交通機関はバス1路線しかないんですね。しかもその路線も午前中より午後が多いんです。そういうことを考えると、あそこまで出かけて本を借りるということは、かなり難しさがあるなと。それで今お話しいただいたように学校とのつながりを持っていただきたいと思います。学校で本を探すけれど、なかなか見つけれない。どこか他にないかと探した際に、本館や分館で連携ができていて、そ

ここで検索したら本を借りることができるシステムがあるといいのではないかと思います。

2番目として、読み手が子ども対象になりえるかは分かりませんが、朝日大学でも随分たくさん本を持っていらっしゃるし、いろんな領域で力を入れて種類を揃えていらっしゃいます。例えば中学生でしたら部活動とかスポーツの関係で、朝日大の図書が利用できるようなるといいのかなと思いました。

それからテーマ1へ戻りますが、「図書館の魅力を伝えるための工夫について」。図書館の蔵書や、行事等について、割合知っている方は広報みずほ等を見ながら、「今度こんな読み聞かせがあるな」「お話の会があるな」等情報を入手して出かけられますが、なかなか広がりが無いように感じますので、広報紙だけでなく、いろんな伝達手段を活用されたらいいのかなと思いました。ホームページを見られる方もあるだろうし、ひよっとすると公共の放送関係で「瑞穂市の図書館でこんな行事をおこないます」、「こんなことをやろうとしています」等、そういった内容を放送されるとまた広がりがあるのかなと。あるいは新聞等に、せっかくおこなわれた行事ですので、紹介だけしたりするといいなと思います。

この前NHKの6時半からのニュースを観ていましたら、いろんな行事の紹介をやっているのですが、瑞穂市は11月のふれあいフェスタ位しか放送されていないんですね。放送料が有料なのはわかりませんが、活用できるところは大いに活用し、PRしていくことが市民の皆さんに知らせる良いツールだと思います。

○加木屋委員 先ほど森下委員がおっしゃった、移動図書館に付け加えさせていただきます。例えば小さいお子さんを2人連れて図書館まで足を運ぶというのは、なかなかお母さんとして労力があることでして、おむつだったりとかそういった荷物を持って行く負担を考えると、図書館に行くのを躊躇されたり、お母さん自身がなかなか人と出会うことが難しいとか、お子さんがなかなか皆さんとうまく溶け込めないとか、さまざまな悩みを抱えていらっしゃいます。そのようなお母さん方が、

少しでも図書に触れる時間を作ることができたら良いのではないかと思います。なかなか難しいでしょうが、先ほどの移動図書館とか、宅配とか、福祉等の関係部署と上手く連携できるような手段があると、母親も心にゆとりができるのではないかと思います。

あと、図書館の魅力を伝えるということで、答申書の方にも書いてありましたが、道路から見てここに図書館分館があるということが全く分からないと思うんです。穂積地区にお住まいの方で、意外とあそこに図書館分館があることを知らない方も多いです。やはりあそこを誰から見ても図書館があるという、何か子どもの目を引くようなものでアピールできたらいいのかなと思います。

それからホームページを拝見すると、外観の写真は出てくるのですが、中の様子がちょっと分からないので、初めて行かれる方にはとてもハードルが高いのではないかと思います。ぜひ中の様子を伝えていただくのもいいかと思います。また、ままフレ等のインターネットサービスからどんどん情報発信していただけたら、今は本当にSNSの時代ですので、今度はお母さん方が発信者になっていくのではないかなと思います。

最終的に子どもはもちろんですが、やはり大人が魅力を感じる図書館というのがとても重要になると思います。ぜひお母さん方の意見をどんどん取り入れていただきたいと思います。

もう1つ、県の事業で「ぎふ木育ひろば」をやっているらしいんですが、とても良い事業だと最初は思っていたのですが、実際にいろいろ取り組んでいっしょには思いますが、なかなかどこにあってどのように活用されているのかわかりづらいので、うまく利用されると、図書だけでなく休憩時間に、活用して遊んだりすることで1日ゆっくり過ごせるのかなという気はしました。

○棚橋市長　ご意見をお聞きする中で、先ほど加木屋さんからお話がありました、「ぎふ木育ひろば」の件ですが、後ほど教育長さんからご説明いただくとして、ここに至った熱い思いを少しばかり皆様にご紹介申し上げます。

1年半ほど前ですか、加納教育長が子ども図書館を充実させたいということで、ちょうど県の図書館が子ども図書館を作ろうと報道でものすごくクローズアップされました時に、私たちとしましても、本当に子ども図書館は必要であると。そんな熱い思いで教育長さんが旗揚げされたのがきっかけでございます。それ以降今回のテーマ3の中にあります、中山道大月多目的広場、そして大月浄水公園をこれから開発するにあって、あらゆる世代の方々が楽しめるエリアにしていこうと。尚且つそのエリア内を中山道が通っている、そんな環境から一つの教育、体育、子どもたちの絆を作る場所にしていったらどうかと思っている次第でございます。そして子ども図書館のネーミングですが、こんな名前を付けたら本当にお子さんたちの興味が湧く、要するにこんな後押しがあるというところ、名前等から膨らむイメージはものすごく大きいと思うんです。そのようなことにつきましても、どんなことでも結構ですから、もう少しご意見を聞かせていただけるとありがたいです。

○森下委員 今、名前のお話が出まして、答申書 1 ページにちょうど「親しみが持てるような名前を…」と書いてあるのですが、大月多目的広場も仮称なんですね。だから例えば、広場の名前に関連して図書館の名前をつける等できたら面白いかと思いました。

○加藤委員 3番目のテーマですが、中山道大月多目的広場と浄水公園、子ども図書館、それからもう1つ、1階に巢南保健センターがありますので、それも含めた形でうまく連動させて作れるといいかなということを思います。

同時に市長さんがおっしゃったように、あそこの公園の南側、交番との間が中学校の体育館を通過してそして川を越えて中山道が昔通っていたんですね。ちょうどその所に現在は16宿ですが、宿場の支柱が建っておりまして、その隣の看板にここの瑞穂市の中山道について説明がありますけれども、実は中山道を歩いている人にとっても、あそこは非常に魅力のある場所になるのかなと思います。と言いますのは、美江寺から呂久まで歩いてもらってもちょっとゆっくり休むとか、一

息つくとか、あるいはちょっと道に迷われた方が案内を見るとかいった場所がないものですから、あの辺りをうまく利用して、そういった旅する方々にご利用いただくとか、いかがでしょうか。それから、運動公園で親子なりみんなが遊んだ時に、ちょっと休憩しようかなという場所があったり、ちょっと図書館へ寄ってみようとか、そういうような形で一括りになるといいかなと思います。

そして、この前図書館へ行った折に車は何台駐車できるのかなと思ってずっと見ておりましたが、60台あるかないかなんですね。ただ60台全部満車にすると、子どもが図書館から出てきて、駐車場を横切って浄水公園に行くとなると、それはちょっとまずいかなと思いました。

総合的にあまり大きく整備改修できないかもわかりませんが、そのつながりを考えながら、子どもたちがどう動くかどう利用できるかという辺りを考えてできるなら、中山道を歩く方も含めて休憩場所や簡単に昼食がとれるような場所等、また利用される方はそう多くないので難しいかもわかりませんが、瑞穂市の特産を紹介する、ちょっと売り出すとかいうことも、考えていただけたら良いのではないかと思います。教育委員会、図書館、観光課だけで考えるのではなく、全市的で連携して、その周辺の充実を考えていただけたらと思います。

○加木屋委員 私も加藤委員がおっしゃったように、図書館という単体で考えるのではなく、やはりあそこの広場をうまく活用して、そのうえで中山道の魅力というものをうまく取り入れてやっていただくと良いと思います。またその中山道の魅力とか、瑞穂市の魅力というものを図書で伝えていただくとか、その辺りの連動性があると、魅力がどんどん発信されていくのではないかと、いろんな意味で人の活用の仕方も広がっていくのではないかと思います。

やはりそこが色々な情報の拠点になったら、お母さん方はそこへ行けばいろんな情報を得ることができて、お母さん方だけでなく世代を超えたさまざまな方々が集まって、いろんな情報が交流できる場所になるのではと思います。

それで先ほど加藤委員がおっしゃったとおり、人がたくさん集まるということは、今度は逆に駐車場等、安心安全の面でとても不安が多くなるんですね。ぜひお母さん方も安心して遊ばせられるような空間ということを考えてみると、特に道路上、車の交通量が結構多いですし、スピードも出ていると思いますので、注意喚起等も併せて考えていただけたらと思います。

○加藤委員 これこそ地域の特性を生かした場所になると思います。巢南保健センターを利用した方が図書館を、図書館を利用した方が巢南保健センターに相談しに行く、浄水公園でゆっくり休憩する、ちょっと運動をしてみるというような、ここに提案されている1日を過ごすということも具体化できるのではないかと思います。

大月浄水公園はだいぶ前に作られているようですが、浄水所からの水をただ流しているだけという状況でしょう。やはりあれだけの施設があるのでしたら、花壇を作るとか、アジサイを植えるとか、そういうようなことで利用をされていくといいのではないのでしょうか。

○棚橋市長 大月浄水公園の中に浄化槽を内設する丘のようなところがございます。大月多目的広場の改良においては、そこを1つの築山として利用できないかと思っています。例えば山登りができると子どもたちの楽しみも増えますし、高圧線があるので不安はあるのですが、その上で凧でも揚げたら非常に上昇気流があって楽しめるのではないかと思います。ただこの場でもう1つ皆様にお聞きしたいのは、実は国は重複施設を少しでも少なくしてほしいと、例えば図書館であれば、本館と分館は性質が重複するという見方が当然あると思います。

やはり対象をお子さんという案に持って行かない場合、当然批判も生まれてくる可能性があります。そのような点も踏まえながら、子ども図書館について、また子ども図書館とは言いながら、どこまでの図書を置いた方が親子の絆ができるのか、もう1回皆様のご意見を聞かせてください。

○森下委員 対象を子どもにする等、はっきりさせることは、確かに大切だと思います。そしてやはり小さいこどものことを考えると、育児等に有

益な図書があるというのは、重要であると思いますし、親子のための場所になると思います。

あとは、「魅力を伝えるための工夫」という点で、図書館で読み聞かせ等定期的な事業を実施されていると4ページに書いてありますが、ぜひ子どもを対象にする場合には、図書館からはみ出してしまうかもしれませんが、子どもが参加できるようなイベントをいろいろ考えていただくといいかなと。

○加藤委員 対象範囲はどこまでか。答申書の中では「高校生まで」と書いてありますが、それだけ幅広くしてしまうと、限られたスペースでの運営は難しさがあるかなという印象です。個人的な考えですが、小学生や中学生は学校図書がありますので、それも大いに利用しながら、寧ろその年齢以下のお子さん、お母さんやお父さんに対して利用できる、もっと下の年齢を対象としたものに特化した方が扱いやすいのではないかと思います。

先ほど申しました保健センターに於いては、小さいお子さん向けのさまざまな健診がありますし、それと関連させて対象を考えられてもいいのではと思います。

今森下委員にお話しいただきました、参加型・活動型の利用についてですが、これは大変意味があると思います。おそらく季節の行事等で図書館内の掲示物を考えてみるとか、本の紹介、読み聞かせ等を既にされているかと思いますが、参加者は受け身の立場なんですね。そういった中に子どもと一緒に画を書いてみる、折り紙をやってみる、工作をしてみるというような、能動的な部分が出てくると、お子さんの参加が増えるのではないかと思います。

○森下委員 親と一緒に参加できるというのはいいですね。

○加木屋委員 図書館分館は、私も子どもが小さい時に、周りの皆さんから、あそこは小さい子がとても楽しめる図書館だと伺いました。今も変わらず皆さんの中にはその認識があります。実質高校生までということが書かれていますし、中高生が勉強できる環境も必要だと思いますので、並行し取り組んでいただきたいと思います。小さい子の視点で見

させていただくと、図書館に入った時のアプローチの仕方等なかなか工夫されているとおもいますが、さらにもう少し充実していただければ、また違った魅力が出てくると思いますので、ぜひ引き続き頑張ってくださいと思います。

読み聞かせの企画等にいつも参加されているお母さんには開催情報が届きやすいのですが、それ以外のお母さんのところに届いていないのかなという気もします。読み聞かせの会は、かなり好評のようですし、ちょっと午後開催は眠くなるので午前がいいとかいろんな意見もあったみたいですので、ぜひその辺りを子ども優先の時間帯にさせていただいて、また回数をたくさん開くとか、あと隔週だとなかなかお母さん方は開催日時が把握しづらいと思いますので、例えば毎週金曜日にするとか、いかがでしょうか。人材面の問題等あると思うのですが、ちょっと行ってみようかなというきっかけからスタートして、こんなところがあるんだという発見や、情報の拡散に広がっていくのではないかと思います。

あと子ども図書館ですね、子どもは背表紙を見るのではなく、やはり表紙を見て魅力を感じるとと思いますので、ぜひ面陳を検討いただきたいです。おそらくスペースの問題でなかなか難しいと思いますが、そういうコーナーをどんどん作って、子どもが実際に自分から本に興味を持つような雰囲気をつくさん作っていただくといいなと思います。

○**棚橋市長** 先ほど佐藤課長が申しましたとおり、奥も深いし幅も広いので大変なことだと思います。それと同時に中山道大月多目的広場の工事の進捗状況等、またどのようなところまでできるかというところに絡んできますので、これから先々何回も皆様に集まっていただいて話していかなければいけない部分があるかと思います。

一宮市に行った際に、こんなことに気が付いたということも含め、他何かございましたら意見を出していただけますか。

○**森下委員** 先ほど加藤委員が言われたように、小学校低学年位までを特化して、高校生は対象から除外してもいいのかもしれないですね。これだったら子ども図書館じゃなくて乳幼児図書館とか何かにしてしまっ

もいいのかなという気はいたしました。

○加木屋委員 分館は巢南中学校の向かいという立地にあるのですが、中学生や高校生の方の利用状況について教えていただけますか。

○佐藤生涯学習課課長 この場ではデータを掴んでおりませんので、すぐの回答は難しいです。

○加木屋委員 対象が小さい子限定にされてしまい、今利用している中高生が来づらくなると、ちょっと残念な気もします。ぜひその辺りも配慮しつつ並行して考えていただけたら。

○加藤委員 テーマ1ですが、「特に地域との連携事業などの観点から…」とお示しいただいていますが、なかなか地域の事業と関連となると難しいところあると思います。もしできるのであれば、子ども会が毎月なり行事をやっていらっしゃると思いますので、その辺で図書館との連携が考えられないかなと思います。

地域の行事も昔のような伝統的な行事が少なくなっているものですから、親子が集まってやる場も本当に少ないです。夏祭り等ありますし、それぞれ特色ある活動をやっているものですから、そこへ入り込んでやれたらとどうだろうと思います。呂久の場合で考えてみると、こここのところ毎年、呂久の和宮の話とか、河川改修の話とかそんなところでちょっと話を聞きたいということで出ていったものですから話をする機会はありますけれども。今年度できたら「あほろくの川だいこ」の演奏なんかもやりたいという話もあるんです。伝承されてきた地域の昔話等を図書館の担当の方や民放のアナウンサーが読み聞かせをやるということもありますが、そのような行事を通して、図書館にはこういった本があるよ、こんな活動があるよというような形で広げていくことができればと思います。

○加納教育長 読書のまち瑞穂というのを提唱して、まず5か年計画でやりましょうということで取り組んでいます。子どもたちが本を読むことになると、幅広い知識だとか、語彙力だとか、表現力だとか、いろんなものを身に着けるだろうと思います。今はデジタル図書というものがありますけれども、やっぱり紙の匂いとか、紙をめくる音とかこうい

う物を感じながらアナログの世界で本を読んでいくことの大事さもやっぱりわかってほしいなという思いを持っています。

だんだん中学生も本を読む子が増えてきています。巢南中の生徒は土曜授業の日に分館へみんなで行っています。全員行くといっぱいになっちゃうので、今日は何々組と何々組という風に分けていきます。子供たちはやっぱり身近に感じてくれていますし、大変いいなと思っています。

それからいろんな事業がやっぱりあります。読み聞かせも毎週ありますし、プラス毎週第3第4の金曜日ですかね、今やっているわけですがけれども、これについては正直に言ってPR不足だなということも思います。特定の親子、特定の方はよく知っているんだけど、全市的に本当に知ってみえるかな。よくよく聞いたら神戸町の方だったとか池田町の方だったということは耳にしています。

たとえば物づくりのイベント、これも実は私も見に行きまして、勾玉づくりをやっているとか、サイエンスショーの出前講座をあそこでやるとかいうような形でいろんな形でイベントをやっているんですが、今も「あー」と言われる位知らないというか、私たちのPRが下手なんだなと思います。今やっているだけでも十分工夫されたものがあるなと感じていますが、その辺り、まずはこの答申に基づいてすぐに何かを直す、何かお金をかけるのではなくて、今やっていることをいかに充実させるというか、PRをいかにするかという辺りをまず考えるといいなと思います。いろんな飾り物なんかもここ半年や1年でだいぶ変わってきたんですね。階段あたりにもいろんな装飾を作ってくれていますし、クリスマスの時期はクリスマスのものがあったりとか、図書館の職員は非常によく頑張っているなと思っています。

ただ中に入った時の雰囲気として、棚がポンポンポンと非常に規律正しく並んでいる様子は、若干違和感を感じることもあります。もっと0歳児が読み聞かせでお母さんに読んでもらうといい本のコーナーとか、あるいはそろそろ自分で読み始める時に使うといい本だとかそんなグルーピングといいますか、図書の分類に関わらず、小さいお

子さんや親さんにとってもわかりやすい配架の仕方、それから見せ方も含めて、そんな様な事ができる図書館になるといいなと思います。確かに就学前のお子さんが結構利用されるので、広いスペースで親子で読んでいる姿もときどき見かけます。そういった物がもっと普段からできるといいなと思います。

それで市長さんが言われたように、やはり中山道大月多目的広場との連携、あの辺りと一体の中で図書館ができるといいなと思います。そして市長さんに、時々外で本を読めないかと言われるのですが、本館はちょっとなかなかスペースが無いですけれども、分館の辺りだと親子で一緒に外で読むようなスペースも実はできるかなということ 생각합니다。そういった感じであのあたり一帯を総合的に考えた図書館づくりは必要だろうということを感じています。

その中でいろいろ今日ご意見いただいて、高校生を対象から外してもいいかなと、聞いていて思いました。それからPRはやっぱり下手だなということをつくづく思いました。そのあたりから今直せるところをやりながら、今後は今ご意見いただいたりこの答申を踏まえてどういう計画で進めていくかという、今やれることはもうやりましょうという中で図書館づくりを進めていって、費用がかかる場合には、予算の関係もあるので計画的に進めることを考えていきたいと思いますが、今いただいたご意見を元にプランニングをきちっとして順番に進めていけるといいと思いました。

実際に私の住んでいる生津地区では、あそこに図書館があることを知らない方がいっぱいいます。というのはあの辺りから巢南の庁舎へ行くルートがなかなかなくて、「図書館があるの、加納さん。」と言われることが結構あります。そのあたりも含めて、公園との連携の中で考えていけるといいなということ を思いました。非常にいろんなお話を聞いて良かったなと思います。以上です。

○棚橋市長 今教育長から、いろんなお話が聞いて本当に良かったという感想がありました。皆様から忌憚のない意見、アイデアを出していただきまして、私自身も本当にそう思っております。冒頭に佐藤生涯学習

課長から、「幅広いテーマ、そしてまた深いテーマでございますが」とあいさつがありましたとおり、これからこのことにつきましては、中山道大月多目的広場の進捗と絡んでいるので、引き続き話し合っていかなければいけない部分がまだまだあるかと思いますが、ひとまず本日は素晴らしい意見を頂戴できました。本当にありがとうございました。

閉会の宣告

○棚橋市長 最後になりますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第7項及び瑞穂市総合教育会議運営要綱第7条の規定により市長が議事録を作成することになっておりますが、内容については私に一任していただくということによろしいでしょうか。

(全員同意)

○棚橋市長 ありがとうございます。会議の円滑な運営にご協力いただきましてありがとうございました。それでは、これで閉会とさせていただきます。

閉会 午後1時55分